



所在地：印西市木刈4-3

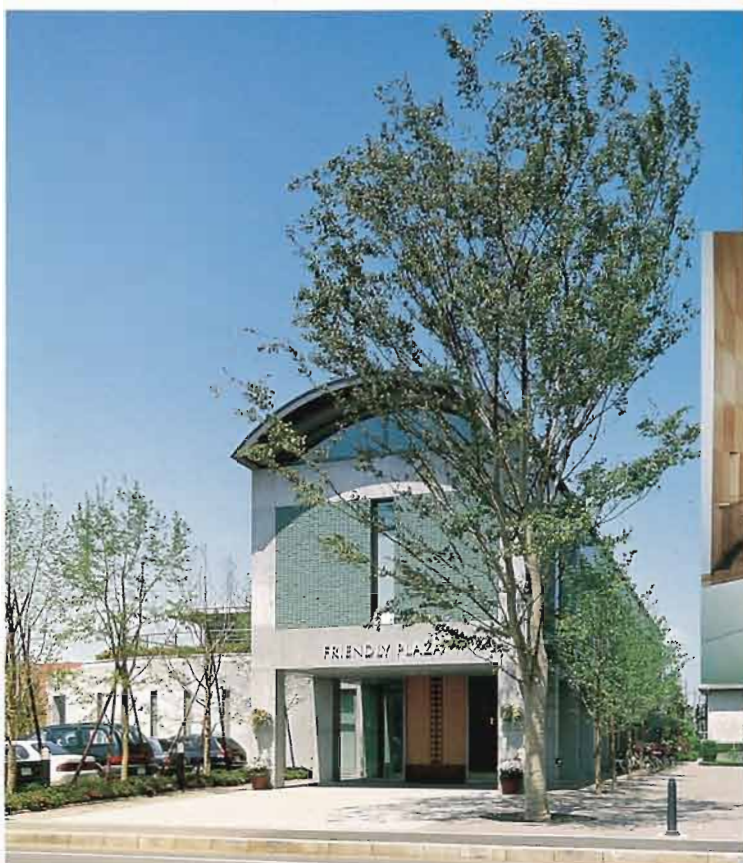
施主：印西市

設計：(株)日建設計

施工：住友建設(株)

景観に配慮した一般建築物

印西市中央駅北コミュニティセンター



北地区コミュニティーセンターは小規模だが洗練されたデザインとバランス感覚の優れた建築であり、最高高さを10m以下に押さえ3段階の高さに分節化することによって近隣への圧迫感を解消し、地域の景観形成に意欲的に取り組んだ極めて完成度の高い作品といえよう。

敷地の二方にある緑道の環境への配慮や建物周囲及び屋上への積極的な緑化によって安らぎのある落ち着いた雰囲気を醸しだし、周辺住宅へのプライバシーの確保にも役立っている。

吹き抜けのあるサロンでは子供たちが自由に読書やゲームに興じ、シルバーコーナーではお年寄りが静かに音楽を楽しむ姿が見られるなど、地域の老若男女がこのように嬉々として利用している光景はこの種の公共施設では大変めずらしい。これは、計画の段階で住民有志から提出された「建設に関する答申書」に基づいて、自らのコミュニティ活動の拠点は自分たちの手で作ってこうという熱い思いが見事に結晶した成果といえよう。

L字型プランの中心部にサークル状の界壁を相関させて、そこにパブリックスペースを集約し、内外空間を一体化した開放的な空間構成は心憎い。外観もスリットのあるコンクリート打放しの曲面とヴォールト[※]屋根とが呼応して柔らかみのある親しみやすい表情で、全体の色彩計画も素晴らしい。

居住性の向上や省エネ化にも配慮され、各室とも十分な日照と自然通風を取り入れるとともに、主要室は床吹き出し空調の採用で快適な室内気候が確保されている。

難点をあげれば、階段段板の形状や大型サッシの重量等、ややデザイン優先のきらいが気になった。

自主運営、自主管理を基本とするこの種の施設だけに、質の高さ、なじみ易さ、メンテナンスフリー、ランニングコスト軽減等、建築ストック時代に則した性能アップとロングライフ化に真摯に取り組んだ設計者の努力と見識を高く評価したい。

(明智克夫)

※ ヴォールト…アーチをもととした曲面天井